The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ
Network Now JART情報
2020 No.540 12/1
http://www.jart.jp
発行所　公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612　FAX. 03-5405-3613

Headline from JART

2020年 JART 10大ニュース!!

1 第81回 公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会開催される

2020年6月6日（土）午後2時より、本会事務所において第81回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が開催された。本総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてWebシステムを導入し、全国の代議員に中継配信した。

議事は書面表決を行い、全ての質疑は事前にメールで受け付け、執行部から配信された回答文を参照することとされた。総会運営委員会 柿本委員長より総会の成立が告げられ、総会議長には界外忠之氏（三重県）、安彦茂氏（宮城県）が選任された。

報告事項の「2019年度事業報告」「2019年度決算報告」、議案の「2020年度事業計画（案）」「2020年度予算（案）」に続き、「定款改正（案）」では、副会長を3人、業務執行理事を4人とすることについて承認された。

「2020年度・2021年度役員選任について」では、代議員の事前投票が行われ、総会当日に議長より結果が発表された。「代表理事候補者・業務執行理事候補者選任について」は、理事会で代表理事・業務執行理事を選任するという内容であり、承認された。

選任された理事らにより理事会が開催され、終了後には上田克彦新会長からのあいさつが発信された。

本総会の詳細な内容は、本会会誌8月号の第81回定時総会議事録（抄）を参照されたい。

2 眼の水晶体の被ばく限度の見直しが公布される！ ～施行は2021（令和3）年4月1日から～

2018（平成30）年3月2日に、放射線審議会会長は厚生労働大臣に対し、眼の水晶体に受ける等価線量に係る限度等に関する意見を具申し、厚生労働省で「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関する検討会」が設けられ、放射線診療従事者等の眼の水晶体に受ける等価線量に係る限度等を改めることとした。医療法施行規則の一部を改正する省令（令和2年厚生労働省令第81号）が2020（令和2）年4月1日に公布、2021（令和3）年4月1日に施行される。次に内容の一部を紹介する。

放射線診療従事者等に係る眼の水晶体における等価線量限度について、1年間につき150mSvから50mSvに引き下げるとともに、2021年4月1日以後5年ごとに区分した各期間で100mSvの限度を追加する。なお、眼の水晶体に受ける等価線量の算定は、1センチメートル線量当量、3ミリメートル線量当量または70マイクロメートル線量当量のうち、いずれか適切なものによって行うこととする。そして放射線診療従事者等のうち、遮蔽（しゃへい）その他の適切な放射線防護措置を講じてもその眼の水晶体に受ける等価線量が5年間で100mSvを超える恐れのある医師であり、その行う診療に高度の専門的な知識経験を必要とし、かつ、そのために後任者を容易に得ることができない者（経過措置対象医師）については、2021年4月1日から2023（令和5）年3月31日までの間、眼の水晶体における等価線量限度を、1年間につき50mSvとする。

厳格な線量管理と他職種への防護教育がますます診療放射線技師に期待されることとなる。

3 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書 提出される

2020年4月6日（月）から8日（水）までの間に、中澤靖夫前会長、上島隆事務局長が議員会館を訪問し、「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を、加藤勝信厚生労働大臣をはじめ、橋本岳厚生労働副大臣、稲津久厚生労働副大臣ら、数人の国会議員に向けて提出した。

要望書の内容は、本会ホームページをご参照いただきたい。

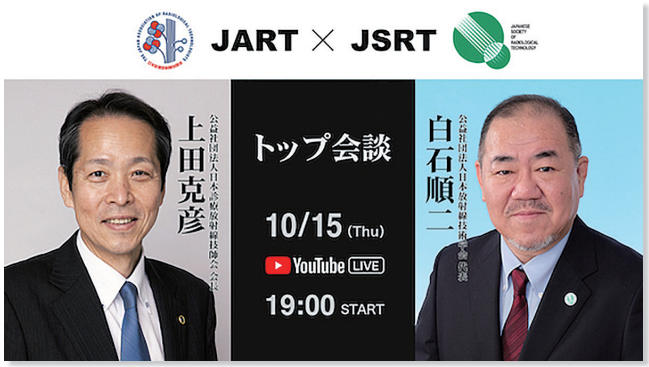
4 JART-JSRTトップ会談 ライブ配信で開催される

2020年10月15日（木）午後7時より、「JART-JSRTトップ会談～両団体のこれまでとこれから～」と題して、本会の上田克彦会長と公益社団法人日本放射線技術学会（JSRT）の白石順二代表理事による会談の模様がインターネット上でライブ配信された。

会談は8つのテーマに沿って和やかに進められた。また視聴者からの質問をチャット機能で受け付け、会談後にその回答時間が設けられた。

会談内容の詳細は、両会ホームページ案内から配信先URLにアクセスしていただきたい。

なお、本会談の内容は本会会誌2021年1月号に掲載予定である。



5 JART-JIRA新会長対談が行われる

2020年8月18日（火）、本会事務所において本会上田克彦会長と日本画像医療システム工業会（JIRA）山本章雄新会長との対談が行われた。新型コロナウイルス感染症への対応状況や、医療におけるIT利用の展望について、それぞれの立場より今後を見据えたご発言を頂いた。対談の内容は本会会誌11月号をご参照いただきたい。

6 第4回 診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討委員会 開催される

2019年11月15日（金）、厚生労働省会議室で第4回診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討委員会が開催された。本検討会は、9月6日の第3回検討会を受け、最終会議となった。

第1回の当初案から変更となった単位数と教育内容は、「画像診断・技術学」を改め「臨床画像学」「実践臨床画像学」に分割し、「診療画像技術学」と「臨床画像学」を統合し「診療画像技術学・臨床画像学」とし、17単位から18単位に追加した。また「放射線治療技術学」に粒子線治療に関する内容を含めて6単位から7単位に追加し、総単位数は原案通り102単位とした。

専任教員の要件は、当初通り「増員」され、学校または養成所の新設置における許容に関する記述は残すことにした。参加型の臨床実習における許容される行為は今後の課題とされた。また教員の資格、または診療放射線技師臨床実習指導者講習会を修了した診療放射線技師が配置されていることが望ましいとされた。詳細は、本会会誌2019年11月号巻頭言および厚生労働省ホームページを参照いただきたい。

7 第36回日本診療放射線技師学術大会（宮城大会）のWeb開催が決定しました

第36回日本診療放射線技師学術大会は、当初予定していた現地開催を見送り、規模を縮小して初の試みとなるWeb開催（ライブ配信は行わない）が決定した。

会期は2021年1月8日（金）から31日（日）まで、事前登録は2020年10月5日（月）から12月17日（木）までである。詳細は、本会会誌・Webサイトをご参照いただきたい。

8 復興庁訪問報告（放射線関連教育について）

東日本大震災復興事業における放射線関連教育について、復興庁よりヒアリングの申し入れがあり、2019年12月5日（木）、復興庁 横山信一副大臣室に中澤靖夫前会長、上島隆事務局長、木村専門職が訪問した。本会が震災復興に協力できること、ならびに埼玉県診療放射線技師会・大分県放射線技師会の小学校・中学校・高校への放射線関連教育の訪問授業の取り組み・課題について説明した。12月25日（水）には大分県放射線技師会 桑原宏副会長と共に再び復興庁へ訪問し、大分県内の具体的な取り組みについての説明やディスカッションを行った。大分県での取り組みについては本会会誌4月号に掲載されているので、ご覧いただきたい。

9 新旧会長引き継ぎ式 執り行われる

2020年6月15日（月）、本会事務所において新旧会長による引き継ぎ式が、現職の上田克彦会長、富田博信副会長、前執行部の中澤靖夫前会長、小田正記前理事の出席の下で執り行われた。上田会長より、中澤前会長を中心に築かれた素晴らしい日本診療放射線技師会のさらなる発展を誓う言葉があり、引き継ぎ式は滞りなく終了した。

10 「会場型講習会開催ガイドライン（新型コロナウイルス感染対策）」本会主催の講習会などの対応方針について

2020年7月4日（土）に開催された2020年度第4回理事会において、会場型講習会開催ガイドライン（新型コロナウイルス感染対策）が承認された。ガイドラインの内容は、感染防止のための基本的な考え方や開催者が講じるべき具体的な対策が記載されており、本会主催の講習会などの対応方針が示されている。全文は、本会会誌8月号およびホームページに掲載しているので、ぜひご活用いただきたい。

第36回日本診療放射線技師学術大会 Web開催概要

大会概要

■ **大会名**：第36回日本診療放射線技師学術大会
■ **テーマ**：国民と共にチーム医療を推進しよう
　－人と技術をつなぐ令和の未来へ－
■ **会　期**：2021年1月8日（金）～31日（日）
■ **会　長**：上田 克彦（公益社団法人日本診療放射線技師会　会長）
■ **大会長**：立花　茂（公益社団法人宮城県放射線技師会　会長）
■ **開催方法**：Web開催（開催期間中にWeb上で閲覧・視聴していただく方式）
■ **会場アドレス**：***http://jcrt2020.radtech-miyagi.or.jp/***
■ **主　催**：公益社団法人日本診療放射線技師会
■ **共　催**：公益社団法人宮城県放射線技師会
■ **後　援**：厚生労働省
■ **参加登録方法**

● **参加登録期間**

事　前　2020年10月5日（月）～12月17日（木）
会期中　2021年1月8日（金）～21日（木）

● **参加登録費（事前・会期中ともに）**

会員：1,000円　非会員：2,000円
学生*：500円

*「学生」とは、診療放射線技師養成校在学中の学生を指します。診療放射線技師免許を取得している大学院生は、学生扱いではありません。

● **申込方法について**

本会会員情報システム（JARTIS）よりお申し込みください。
https://jartis.force.com/crm/s/login/

*会期中は，第36回日本診療放射線技師学術大会ホームページから参加登録をお願い致します．短期間での参加登録費振込確認のため，クレジットカードのみの取り扱いとさせていただきます（大会期間中は，JARTISからの参加登録はできません）．

なお，登録まで数日かかる場合がございます．ご了承ください．

● **お申し込み後のキャンセルについて**

お申し込み後、指定された支払期限までにお支払いがない場合は、自動的にキャンセルとなります。

事前のお申し込みについては、12月17日（木）までにキャンセルのお申し出を頂ければ返金致します（ただし、振込手数料はご本人負担）。

会期中のお申し込みについては、いかなる理由があっても返金は致しません。

第36回日本診療放射線技師学術大会 TOPICS

★ **会長講演**
「これからの日本診療放射線技師会」
公益社団法人　日本診療放射線技師会　会長　上田 克彦

★ **市民公開講座**
「新型コロナウイルス感染症に対する診療放射線技師の取り組み」
昭和大学大学院　保健医療学研究科、
昭和大学病院　放射線技術部　安田 光慶

★ **教育講演1**
「水晶体の被ばく限度の見直しについて」
東北大学　大学院医学系研究科／災害科学国際研究所　教授
千田 浩一

★ **教育講演2**
「人工知能と診療放射線技師の近未来」
福島県立医科大学　新医療系学部設置準備室　教授
高橋 規之

★ **JART企画1**
「放射線業務におけるヒューマンエラー対策」

★ **JART企画2**
「診療報酬改定に向けた技師会からの要望書の課題とアンケート調査」

★ **JART企画3**
「がん対策の推進について～放射線療法の均てん化と診療放射線技師の役割～」

★ **JART企画4**
「タスク・シフト／シェアおよび学校養成施設カリキュラムの改正に伴う教育と研修」

★ JART企画5
「医療放射線安全管理責任者の実情と問題点」
★ JART企画6
「診療放射線技師の働く環境についての検討」
★ JART企画7
「大規模災害に対応する人材育成と支援活動の実際」
★ JART企画8
「世界でも活躍できる診療放射線技師を目指して」
★ MART企画ベーシックセミナー1
「X線撮影」
1. 肩関節撮影
2. 股関節撮影
3. 膝関節撮影
4. 足関節撮影
★ MART企画ベーシックセミナー2
「骨関節撮影」
骨関節撮影が変わる
★ MART企画ベーシックセミナー3
「乳房撮影」
マンモグラフィポジショニングの温故知新
～正しい知識の習得と技術の実践
★ MART企画ベーシックセミナー4
「CT」
1. 造影理論に基づく肝ダイナミックCT
2. 心臓CTに必要な心電図の基礎知識
3. 臨床推論から導く救急CT撮影
★ MART企画ベーシックセミナー5
「MRI」
1. 高速化技術のポイント
2. 心臓MRIの基本的な撮像法と役割
★ MART企画ベーシックセミナー6
「核医学」
負荷心筋血流SPECTの読影のポイントと技師に期待すること
★ MART企画ベーシックセミナー7
「放射線治療」
放射線治療領域で今後求められる被ばく線量管理
★ MART企画ベーシックセミナー8
「血管撮影」
血管撮影初心者がおさえておくべきポイント
★ MART企画ベーシックセミナー9
「救急撮影」
急性腹症を撮る・読む・伝える
★ MART企画ベーシックセミナー10
「医療情報」
医療情報の基礎
★ MART企画ベーシックセミナー11
「胃X線検査」
1. 胃X線検査の概要
2. 撮影しづらい症例から学ぶ胃X線検査

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
最終確定は会誌12月号：コングレスブックでご確認ください。
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

2020年度 第2回 画像等手術支援認定講習会（分科会初のWeb認定講習会）開催される

2020年度第2回画像等手術支援認定講習会は、当初、札幌で対面式講義での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、JART分科会としては初のWeb形式で2020年10月11日（日）に開催された。

本講習会はWeb配信講習会であるが、認定講習会なので全ての科目において受講の確認が必要であり、厳格な出席管理システムの下で行われた。またZoomを用いたオンタイム講習会であったため、管理体制の業務も考慮し70人の募集で開催した。

受講生が快適に学習できるようにインターネット環境を整え、当日、講師は3密を回避する環境で講義を行った。

今後は、今回の経験を踏まえ、コロナ禍でも開催可能なWeb配信方式を適時取り入れ、本会事業の一つである講習会開催が継続して行えるよう検討していきたい。

当日の講師の様子

2020年度中間監査 実施される

2020年10月30日（金）午後1時より、本会事務所とWebを使用して監査監事（新開監事、小川監事、横田監事）による2020年度中間監査が実施された。

上田会長より2020年度事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた事業が遂行できない状況であるが、Webで開催できるものから少しずつ活動を進めていることなどの説明がなされた。次に江田総務理事による庶務報告と事業ごとの活動報告が行われた。続いて江端財務理事による2020年度事業収支の中間報告が行われた。

これに対して、監査監事から口頭指導がなされた。主な指摘事項は、新型コロナウイルス感染症の影響により、統一講習会などの実習関連の事業が滞っている。このままでは予算通り支出されず、多額の余剰金が発生する。下半期は感染対策を考慮した講習会などの実施と、会費に見合った事業を会員へ提供してもらいたいことが述べられた。

上田会長からは、下半期は対面型講習会の実施に向けて、現在準備中との回答がなされた。また会費などについては、今後検討していく予定との回答がなされた。

最後に新開監査監事より、引き続き「会員数の増加」に向けて事業を推進してもらいたいとの要望がなされた。

出席者は上田会長、江藤副会長、富田副会長、児玉副会長、中村業務執行理事、江端財務理事、江田総務理事、顧問税理士の玉川税理士。事務局からは上島局長、加藤総務課長、木村専門職、鷲見専門職らの関係職員が出席し、約3時間にわたり質疑応答が行われた。

入魂式 執り行われる

2020年10月20日（火）に鈴鹿医療科学大学内で入魂式が執り行われた。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、上田会長、中村業務執行理事、豊田外部理事、上島事務局長、加藤総務課長、藪井事務局員らによる限られた人数での入魂式となった。

2019（平成31・令和元）年度の物故会員36人全員の氏名が読み上げられ、黙とうがささげられた。献花をお供えし、厳粛な雰囲気のうちに閉式した。

診療放射線技師のための フレッシャーズセミナー 開催報告

茨城県（Web開催）

公益社団法人茨城県診療放射線技師会　会長　川又　誠

日本診療放射線技師会との共催でフレッシャーズセミナーを開催しました。本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により会場型の開催は見送り、YouTubeを利用したオンデマンド型のオンラインセミナーとして開催しました。例年は丸1日をかけて6時間のプログラムを組んでいましたが、オンライン開催に伴い、プログラムの短縮、開催期間を2020年9月10日（木）から9月30日（水）までとするなど変更を行い、①医療安全 ②エチケット・マナー ③被ばく低減 ④感染対策 ⑤技師会入会案内 ―― の5つの講義を配信しました。専用ページから受講申し込みを受け付けるとセミナーのURL（右図）を通知する方式で開催し、期間中32人（会員12人、非会員20人）の方々に視聴いただきました。

受講後のアンケートには13人から回答を頂き、「参考になった」「良い復習になった」など好意的な意見を多数頂きました。また会場型とオンラインのどちらがいいかとの質問に対し85%の方がオンライン開催がいいと回答され、「各講義がコンパクトで聞きやすい」という意見

もあり、おおむねオンラインセミナーは好評であったと思われます。その半面、「集中力が続かない」との意見があるほか、受講申し込みページを経由せずに視聴する方がいたなど、オンライン開催への課題も見つかりました。

最後に、講師の皆さまには新たな開催形式に対し迅速に対応いただき、無事セミナーを開催することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

東京都（Web開催）

公益社団法人東京都診療放射線技師会　会長　篠原 健一

本年度は新型コロナウイルス感染症対策により、上半期のほぼ全ての事業・セミナーなどが中止または延期となりました。下半期には何らかのかたちで事業を動かすべく、10月よりWeb（Zoom）上でフレッシャーズセミナーを開催しました。

例年であれば5月に2回の対面開催で約100人の方に受講していただいていますが、本年度は2020年10月4日（日）、10月18日（日）、11月1日（日）の3回、Web配信で定員を30人として募集しました、3回とも三十数人の申し込みがあり、例年と同程度の受講者数となりました。

講義の内容は、①エチケット・マナー／医療コミュニケーション ②医療安全 ③感染対策 ④被ばく低減 ⑤胸部撮影 ⑥気管支解剖 ⑦CT撮影 ⑧画像診断に必要な検査値と画像 ⑨技師会紹介 ⑩入会案内 ―― を午前9時から午後5時までの時間配分で行いました。

Webということで、上田会長にもZoom上で開講時のごあいさつを頂きました。講義も、ライブもありビデオ配信もありで、今後のさまざまなセミナー・学術大会などに向けての良い経験となりました。

愛媛県

公益社団法人愛媛県診療放射線技師会　会長　水口　司

2020年10月3日（土）、愛媛大学医学部で「日本診療放射線技師会フレッシャーズセミナー」を開催致しました。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大に天候不順と2度の延期の末、何とか対面で開催することができました。Web開催も検討致しましたが、やはり地方開催のメリットは対面での開催です。会場の入り口には非接触の体温計・アルコール消毒ジェル・マスクなどを準備し、十分に感染防止対策を行い開催しました。今回は定員130人の会場に12人の受講者と、密どころか疎の状態でやや寂しい感じではありましたが、感染管理上は極めて良好な状態で行われました。

会場では、皆さんマスクで表情が分からない…知らない顔ばかり…座席はバラバラ…と、何だか緊張した空気でしたが、プログラムの間にアイスブレーキングの意味で名刺交換（少し心配）を行い、少し緊張が解けたようでした。セミナーが終わるころには、物理的な距離はあってもつながれる予感を持たれたのではないかと思います。仕事を始めて間もない参加者にとって、学術的なプログラムによるスキルアップはもとより、職場が違ってもこれから先も気軽にコミュニケーションが取れるような、つながるきっかけとなるセミナーになっていれば成功だったと思います。もちろん多くの皆さんに入会していただいて！

福岡県（Web開催）

公益社団法人福岡県診療放射線技師会　学術担当　宮原 克樹

福岡県診療放射線技師会では、本年度のフレッシャーズセミナーを2020年10月17日（土）に開催致しました。例年ですと5月に開催しているのですが、今般の新型コロナウイルス感染症のため会場参加型開催は取りやめ、Cisco社のWebex Meetingsを用いてWeb開催致しました。

事前登録は49人、受講後アンケートの返信は41人、そして役員を含め最大64人の参加となりました。理事会やメイン会場からサテライト会場へ中継したセミナーで使用しているWebex Meetingsですが、どのくらいの人数までできるのか不安もありましたが、60人を超える人数でも開催可能なことも確認できました。

受講者確認方法として、プログラム途中にキーワードを提示し、セミナー後に特定のURLから入力していただくことにしました。キーワード1は「FART」、キーワード2は「入会します」です。受講後アンケートでは、「社会人としてのマナーや画像所見など、明日から生かせる内容でした」「入職して半年ですが、胸部撮影に関してまだまだ知らなかったことが多くありました」「普段、意識せずに行うところを再認識することができ、修正できる機会を与えていただいた」「診療放射線技師として撮影技術だけではなく、読影に必要な知識の習得にも力を入れていきたいと思います」など、とても勉強になったと多くの声が寄せられました。

またセミナー開催を待ちわびていたという声もあり、お世話する立場からは開催できてよかったと感じております。受講生からの要望としては、「ライブ配信ではなく期間内での録画配信の希望」「新人同士の交流の場があったらよい」「音声が途切れないようにしてほしい」などの声が寄せられました。

講演中の中村会長

徐々に会場使用の規制も緩和されつつありますが、音声がOFFになったり、スライド共有が強制解除されたりなど、やってみないと分からないトラブルもあり、今後もWeb開催を行う上で貴重な経験となりました。

最後に、講師の皆さま、情報システム委員の皆さまにご協力いただき、感謝申し上げます。

- **参加者数**：申し込み49人、参加41人（会員14人、申請中4人、非会員23人）
- **受講環境**：PC31人、スマートフォン8人、タブレット端末2人
- **接続環境**：有線LAN9人、無線LAN32人
- **接続状況**：おおむね良好28人、音声が途切れる12人、接続が切れた1人、映像が途切れる0人

INFORMATION

ISRRT-JART Joint Facebook Live AI sessionがFacebookで視聴できます!

2020年11月1日（日）、日本時間午後9時からISRRTが主催するウェビナーがJART共同企画として開催されました。ISRRT vice presidentのNapapong Pongnapang氏の進行の下、本会上田会長があいさつをされた後、「Overview of the current status of artificial intelligence (AI) surrounding the field of radiological medical technology」と題して、株式会社リジットの山本修二氏の講演が発信されました。

また2020年11月8日（日）、日本時間午後9時からは、本会児玉副会長による「Radiological Technologists and medical AI」と題したウェビナーが行われ、この日はオムニバス形式で南アフリカならびにイギリスからも発信されました。

これらの模様がFacebookで視聴可能です。ISRRTのFacebookアカウント内（***https://m.facebook.com/isrrt.org/***）の“動画”からご視聴ください。

INFORMATION

2020年 秋の叙勲受章者 —おめでとうございます—

旭日双光章	洞田貫 誠志（熊本県）			
旭日単光章	葛西 一隆（東京都）			
瑞宝双光章	小川　正（滋賀県）	奥村 昭雄（東京都）	草柳 伸彦（神奈川県）	坂口　寛（徳島県）
	島児 末治（鹿児島県）	清水 利彦（山梨県）	逸見 省三（岡山県）	山田 文夫（宮城県）
	山中 隆二（埼玉県）	山本 優次（岩手県）		

（敬称略・順不同、括弧内は所属地域）

新しいことへの挑戦

シリーズ・連載 series serialization　五感 —— five senses

新型コロナウイルス感染症が発生してから、生活環境がそれまでとかなり変わってしまった。職場では毎朝出勤直後に体温測定を行うことが義務付けられ、常に3密（密閉・密集・密接）を避けることを意識し、休憩時間も向かい合わせでの食事を避け、食事中の会話も控えることが求められるようになった。

また私の勤務している病院では、職場の外においても同僚や友人たちとの飲み会や会食が制限され、今まで普通にできていたことができない状況が8カ月以上も続いている。そのためか、周囲の人からストレスが徐々にたまってきて、最近何をやっても「つまらない」「やる気が出ない」など、精神的に参ってきたという声を耳にするようになった。そんな声を聞いていると、確かにコロナ禍以前は、私も気の合う仲間たちとしばしば夜遅くまで酒を酌み交わしカラオケにも興じることで、日頃のストレスを発散し、自分の生活リズムのバランスを保っていたようで、同様なストレスを少なからず感じていることに気が付いた。それらができなくなった昨今、日々の生活への意欲や活力が減退してストレスがたまり、このままでは心も体もストレスに負けてしまうのではないかと不安に思うようになっていた。

しかし、ふとコロナ禍以前のような生活に戻ったときには、心も体も健康でありたいと強く願う自分がいることに気が付いた。それを成すにはまず体力作りからと思い、ウオーキングを始めることにした。上杉鷹山の名言「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」にあるように、信念を持ってやり通したいと思う。そして体力がついてきたら、次はハイキングや登山など自然の中で過ごす時間を増やし、心のリフレッシュもしたいとも考えている。

コロナ禍の環境により、多くの学会や研究会の活動方法がWeb開催になっている。多くの人が集まれるイベントが開催できるようになるまでにはまだ時間がかかりそうだ。

このような生活環境の変化により、さまざまなことがこれからも今までなかったような様式で行われていくと予想されるが、その多くはパソコンやスマートフォンを使ってインターネットを利用するものになるだろう。国勢調査までインターネットで回答する時代になるとは…。これからさらにデジタル化が進むことになるのだろうが、私はあまりパソコンに詳しくないので、大変な時代になってしまったなと感じる今日この頃である。

私にとってこのような生活環境の変化についていくことは、自分への挑戦でもある。この挑戦をし続けることにより、コロナ禍が終息を迎えた時には、大きな成長を遂げているに違いない。

そんな自分に期待し、ポストコロナ社会に向け「新しいことへの挑戦」をしていこうと思う。

（文責：小黒　清）

INFORMATION

第37回日本診療放射線技師学術大会
第23回アジア・オーストラレーシア学術交流大会（23rd AACRT）
第28回東アジア学術交流大会（28th EACRT）

第1回 東京への道 Go To TOKYO

大会長　篠原　健一
（公益社団法人東京都診療放射線技師会 会長）

学術大会開催のお知らせ

第37回日本診療放射線技師学術大会および第23回アジア・オーストラレーシア学術交流大会（23rd Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists：AACRT）、第28回東アジア学術交流大会（28th East Asia Conference of Radiological Technologists：EACRT）を、2021年11月12日（金）から14日（日）までの3日間、東京ビッグサイトで開催致します。

AACRTについては、2015年の第20回AACRT（シンガポール）において、本来は2019年の第22回AACRT招致に日本診療放射線技師会として立候補しました。しかし、オーストラリアと競合することになり、16の国と地域各1票による投票の結果は8対8でした。当時の議長（ISRRT委員＝タイ）提案により、特例として第23回開催地も決めることが採択され、抽選の結果、2019年がオーストラリア、2021年が日本となりました。2013年のIOC総会（ブエノスアイレス）で東京五輪・パラリンピック2020が決まっており、その前後ということであれば、後の方で良かったと思っていたところ、コロナ禍による延期でくしくも（今のところ）同年開催となりました。

本大会は、日本診療放射線技師会のスローガン「国民と共にチーム医療を推進しよう」を旗印に、サブタイトルとして「技術の多様性と人の調和」を掲げ、準備を進めています。

現段階では、延期された東京五輪・パラリンピックは開催の方針、国の政策としてGo To キャンペーンや海外からの受け入れ態勢などを見据え、一部対面参加型、一部オンライン（ライブ配信＋オンデマンド方式）でのハイブリッド開催とする計画でいます。

2021年のAACRTを日本で開催することが決定した会議の様子（2015年）

2019年のAdelaide（オーストラリア）大会の閉会式で、次期開催国のあいさつをする中澤前会長

経験のない方式や、先の見えない感染症対応、状況の変化などの要素による紆余曲折が予想されますが、可能な限り、従来の学会発表や各種講演・セミナーを開催し、その上で今後の社会に向けた新たな方法や可能性を探っていきたいと思います。

会員の皆さまには、さまざまな点でご不便をお掛けするかもしれませんが、われわれと共に新たな未来に向けて歩きだそうではありませんか。

昨年の6月に、東京で関東甲信越診療放射線技師学術大会を開催しました。その時のテーマは「つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～」でした。日本の心につながる“和”、江戸から東京につながっているさまざまなもの、場所や文化にも大いに興味を持っていただければと思っています。

東京ビッグサイト公式ホームページ：**https://www.bigsight.jp**

第37回 日本診療放射線技師学術大会

37th Japan Conference of Radiological Technologists

第23回　アジア・オーストラレーシア学術交流大会（23rd AACRT）
第28回　東アジア学術交流大会（28th EACRT）

国民と共にチーム医療を推進しよう
Lets promote team medical care with the nation

技術の多様性と人の調和

Diversity of technology and Harmony of people

■ 2021年11月12日（金）▶14日（日）
■ 東京ビッグサイト

会長
President

上田　克彦 Katsuhiko UEDA
公益社団法人 日本診療放射線技師会会長

大会長
Chairman

篠原　健一 Kenichi SHINOHARA
公益社団法人 東京都診療放射線技師会会長

■運営事務局
公益社団法人東京都診療放射線技師会
E-mail: taikai2021@tart.jp

主催　公益社団法人 日本診療放射線技師会
共催　公益社団法人 東京都診療放射線技師会
後援　厚生労働省（予）
　　東京都（予）

INFORMATION

診療放射線技師のための フレッシャーズセミナーのお知らせ

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■ **フレッシャーズセミナー開催予定：**

佐　賀	12月　5日（土）	**群　馬**	12月　6日（日）
石　川	12月10日（木）～13日（日）　Web開催	**秋　田**	12月18日（金）　Web開催
熊　本	12月26日（土）		

INFORMATION

12月・1月の講習会などスケジュールのご案内

■ **業務拡大に伴う統一講習会**：　**東　京**　1月16日（土）～17日（日）

■ **認定資格試験**：　**東　京**　1月24日（日）　**大　阪**　1月24日（日）

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

INFORMATION

ホームページ閲覧のお願い

「業務拡大に伴う統一講習会」および**「診療放射線技師基礎技術講習」**の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

■ **「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程**：***www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html***

■ **「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程**：***www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt000000603l.html***

INFORMATION

論文投稿システム運用に伴う投稿規程改定の紹介

2020年11月より論文投稿がオンライン化されました。これに伴い、2020年度第6回理事会で本会が定める投稿規程が一部改定されました。

これまでは「原稿を正副2部提出し、正原稿には電子媒体にて当該データを添付」（旧投稿規程引用）して本会事務局に郵送する必要がありましたが、**「オンライン投稿システムを用いて投稿する」**（新投稿規程引用）と改定されました。電子化により紙媒体や郵送の手間をなくし、時代に即した形式に変更されています。

投稿規程は毎号会誌に掲載されています。またオンライン投稿ページからも閲覧可能です。上記内容以外にも変更された細かな項目がありますので、会員の皆さまには論文の執筆前に必ずご確認いただくようお願い致します。

なお、具体的なオンライン投稿方法については本会会誌11月号をご参照ください。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。